

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	上鳥羽物流施設計画	階数	地上5F
建設地	京都府京都市上鳥羽区中野9-12番、13番、14番、15番、16番上鳥羽物流施設40番2、43番 敷地面積1194	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年7月 0.0	評価の実施日	2019年9月6日
敷地面積	6,994.80 m ²	作成者	藤原 康行
建築面積	4,092.80 m ²	確認日	2019年9月6日
延床面積	14,471.53 m ²	確認者	藤原 康行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.7**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>Q1 室内環境 内装材において、F☆☆☆☆材料を積極的に採用している。</p> <p>LR1 エネルギー</p>	<p>Q2 サービス性能 メンテナンスの材料の採用、床材巻上げなどといった計画をしている。</p> <p>LR2 資源・マテリアル リサイクル材料を内装材(塩ビシート)に採用。化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない内装の接着剤を採用。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される